

地方創生推進交付金事業 委員評価シート（結果集計）

No.	事業名	担当課	事業全体の評価（いずれかに○）		「事業の内容」に記載されている各個別事業等への意見・今後の提案等
1	<p><b>今だけ、ここだけ、貴方だけ観光推進事業</b>  <small>（旧：お茶の京都DMO地域活性化推進事業）</small></p>	産業課	総合戦略のKPI達成等に非常に有効であった	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海の京都や森の京都に比べてもお茶の京都の注目や交流人口増へのインパクトは大きかったと思われるが、久御山町はこれをうまく活かしたかという疑問が残る。</li> <li>・久御山町単独で観光客数がこれだけ上がったかと言えば、難しく思う傍ら連携した取組があればこそその数字で有効であった結果だと思う。</li> <li>・掲示物やのぼりなどで少し惹かれた。もう少しラフにお茶や憩い場所があれば良いと思う。</li> <li>・目標値には若干達していない状況ではあるが、平成30年度まで横ばいであったことを鑑みると有効性はあったと考える。</li> <li>・本事業は、南部関係市町村連携事業の一部負担金という性格もあり、実際の観光入込客数は98.3%の達成率と一定の実績ではあるが、事業と実績の関連性の検証がやや難しいと思われる。</li> <li>・「お茶の京都DMO」の事業推進ということであるが、宇治のイメージがあり、久御山町としての関わり方の工夫（PR）が必要であると考える。</li> <li>・お茶の京都ということでは、イベントやいろいろと目にしたい体験することがあったり、一定の成果はあったのかと思うが、久御山町独自という点では、お金の負担以外では何をしたのかよく分からない。</li> <li>・毎年11月23日に開催されていた「ふるさとフェア」を復活させてはどうか。他の市町村からの来場者もたくさんあった。</li> <li>・お茶の京都DMOを推進する中で、久御山町としての魅力発信が少し弱かったような気がする。（今後の茶室の活かし方など）</li> <li>・事業費の負担だけでなく、「お茶の京都マスタープラン」に基づく久御山町交流促進アクションプランとは別の久御山町独自の事業展開ができれば良いのではと考える。</li> <li>・「京都」という知名度を活かし、「お茶」という山城地域を代表する統一テーマによる地域ブランディングの取組であり、京都府、お茶の京都DMO、山城地域12市町村が連携した観光地域づくりとして、十分効果があったと言える。</li> <li>・町単独での取組には限界があり、DMOを中心に山城地域の市町村とも連携し、「ものづくり」などの町の地域資源を活かしながら、観光を入口とした地域振興の取組が引き続き重要であると考える。</li> <li>・（今後の提案として）久御山町の地域資源（巨椋池排水機場、山田家住宅、久御山ジャンクション、木津川・宇治川の川資源等）を語る人材の育成をお茶の京都DMOと連携して実施し、お茶の京都DMOに小さな旅を商品化の実現を要請すること。また、山城地区のゲートウェイとしてイオン久御山周辺の賑わいづくりをお茶の京都DMOとタイアップして研究し、クロスピア久御山の活性化に繋げることが重要である。</li> </ul>
	9	総合戦略のKPI達成等にある程度有効であった	1		
		総合戦略のKPI達成等にあまり有効とは言えない			
		総合戦略のKPI達成等に有効とは言えない			
2	<p><b>産業がすくすく育つまち「ものづくりの苗処」事業</b></p>	<p>総務課                      子育て支援課                      都市整備課                      産業課                      新市街地整備室</p>	総合戦略のKPI達成等に非常に有効であった	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バランスの良い事業内容だった。ただし、レンタサイクルについては、有効性や費用対効果の点で問題があったと考える。</li> <li>・製造業1人当たりの年間給与、工業事業所数は目標値にいかなかったものの、製造品出荷額が113%ということは、全体的に会社として売上げを伸ばし、同時に利益も伸びているであろうと考えられることから有効であったと思う。</li> <li>・夢タワーによって久御山の認知に貢献していると思う。継続してバージョンアップしてほしい。</li> <li>・事業所数の減少は気になるが、その他は概ね結果が出ていると思われる。魅力発信がより発展することを祈念する。</li> <li>・事業としては、展示会の支援、情報発信事業等、相対的に取り組みやすく、また、具体的に可視化できるものが多く、有効であったと考える。</li> <li>・今後の課題として、町外に対する「ものづくりの苗処」の認知度向上を引き続き増幅させていく必要があり、取組施策の議論が望まれる。</li> <li>・何年か前まで秋に開催されていた「ふるさとフェア」は、町外からもたくさん人が来られてよかったと思うが、なぜなくなったのか。</li> <li>・「ものづくりのまち」が町内の子どもたちにも理解してもらい、自分たちの町に自信を持ってもらえるような取組も考えてほしい。</li> <li>・昨年の田んぼアートに子どもと一緒に参加した。田植えや稲刈り、田んぼで泥んこそりレースなど、なかなか経験できないことなので、普段とは違う子どもたちの表情など見れてすごくよかったので、長期間のイベントで大変だと思うけど継続してはどうか。</li> <li>・魅力発信事業としての夢タワーライトアップ事業は、久御山町としての知名度向上には繋がっていると思う。一度で終わらず、毎年同じ時期にイベントを企画するのも知名度アップに繋がると思う。</li> <li>・レンタサイクル事業は利用者にポイントなどをつけるなどして、人数が集まれば、町内で利用できる商品券を利用者に提供するなどすれば、もう少し利用者が増えるのではと思う。</li> <li>・事業費の多くを占めるタワーライトアップ、事業用地需用への対応は、今後効果が出てくる事業であり、今回のKPIに直接影響するものではないと思われるが、今後大きな効果が期待される事業であるため、積極的に進めていただきたい。</li> <li>・夢タワーのライトアップ等について、web広告やSNSなどを活用したPRも効果があるのではないかと。</li> <li>・レンタサイクルについては、利用者の利便性（ニーズ）を考慮した改善の取組を継続していく必要がある。</li> <li>・（今後の提案として）企業ニーズの高いUターンによる若い雇用者の確保、事業承継・創業支援につなげるための人材づくりに行政と地域団体（企業）が一体となって取り組む仕組みづくりを創設することが必要である。</li> </ul>
	8	総合戦略のKPI達成等にある程度有効であった			
		総合戦略のKPI達成等にあまり有効とは言えない			
		総合戦略のKPI達成等に有効とは言えない			